

第 274 回環境委員会・第 211 回フタレート部会 議事録

日 時 2024 年 8 月 27 日 (火) 15:30～17:00

場 所 東部ビル 1 階事務所ハイブリッド開催

出席者 安藤環境委員長、楯谷副委員長、加茂川副委員長、石神副委員長、宮崎謙一フタレート部会長、古賀アジペート部会長、高見技術部会長、小野広報部会長、長田委員、藤澤委員、小川アドバイザー、宮崎常昭アドバイザー
根岸副会長、山下理事、柳瀬技術部長、山口 (記)

欠席者 盛田会長

冒頭、参加者全員が独禁法遵守ガイドラインを確認した。

8 月度トピックス：柳瀬技術部長

- ・米国：EPA が TSCA に基づく既存物質の優先化のリストを発表したが塩化ビニルモノマーが含まれた。
- ・INC-5：経産省アンケートに対応した。

1. 各部会報告

1-1. フタレート部会

1-1-1. 環境 WG

高見部会長より報告。

- ・環境モニタリング結果速報。河川水、海水とも検出限界以下であった。
- ・モノエステルについては検出限界が低いので検出されているが、ジエステルと比較すると二桁低い値であった。

安藤環境委員長：ジ体もモノ体と同等の検出限界で調べることは可能か？

高見部会長：可能と思われるが、これまでの調査では各自治体の調査時の検出限界値に合わせている。また当面モノ体のデータを公表する予定はない。

1-1-2. 安全 WG

長田主査より DEHP の化審法対応を報告。

1-1-3. 調査 WG

宮崎フタレート部会長より報告。

全 77 件。キーワードとしては内分泌かく乱作用がここ数年で全体の 10%程度が 30%程度まで増加している。

2408-024：USA、フタル酸エステル類の EDCs としての影響

2408-061：トルコ、線虫を使用し DEHP の EDCs の調査

2408-068：中国、DEHP の代謝の研究動向の解析

柳瀬部長：2408-015 は JPIA が調査を開始したモノエステルのモニタリングと共通部分があるので論文にあたるべき。

1-2. アジペート部会

1-2-1. PVC 安全衛生連絡会

古賀アジペート部会長より報告。

・INC-5 の決定を前にバイデン・ハリス政権がプラスチック汚染に関する戦略を転換した。EU に同調。
1-2-3.DOA の水生環境有害性の NITE による GHS 分類に対する意見書を 8/23 に環境省へ提出した。

1-3. 広報部会

小野部会長より報告。

・8/23、リケンテクノスでの講演を実施した。

1-4. 技術部会

高見技術部会長より報告。

1-4-1.顧客からの問い合わせ

・柳瀬部長より説明

1-4-7.マルポール条約関連

・7/30、DEHP 再申請内容につき 3 社で協議した。前回とほぼ同内容となる。今後国交省へ当該内容の是非を確認することになる。

2.PVC 関連団体とのコワーク他

柳瀬部長より説明。

4-1-2-2.シックハウス関連

長田主査：今回の検討会結果につき意見募集がされる予定となっている。それに備えて 2E1H の初期リスク評価に採用された有害性値についてアルコールメーカーからの意見をいただきたい。

小川アドバイザー：他の有害性の低い論文があると提示しても、手順に沿って最も低い値の論文を採用したと言われてしまえば議論にならない。今回の論文が手順に沿って選定されているか、信頼性するに足るものかどうかという側面を検討し意見を出すことであれば理解できる。

安藤環境委員長：宮崎アドバイザーには別途連絡する。JNC にも CGE 経由お願いして欲しい。次回環境委員会まで。

根岸副会長：JNC には問い合わせることとしたい。

4-3-2.日本毒性学会

・7/3～5 の学術年會に柳瀬部長が参加した。動物実験に依らない in vitro から有害性を予想する方法が種々開発されつつあることが分かった。

その他.

事務局山口：11月26日（火）16:00～17:30 に江馬先生の講演会を開催するので環境委員会は 13:30～と 1 時間早く始めるのでご予定いただきたい。

以 上